

特別活動（生徒会活動） できることを「今」やろう

川崎市立南大師中学校



単元（題材）目標

○手話に興味関心をもつ。

福祉委員会では、これまでに行ってきたボランティアの他に、自分達で考えた企画を
実践していく自主的活動を推進しています。

（1）実施時期 通年

（2）対象（学年等・人数）

福祉委員 22名 全校生徒 361名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 1名

経験のある福祉委員の生徒 6名

（4）実施内容

①4月：新入生歓迎会

福祉委員長が、手話を使って自己紹介をしてから委員会紹介を行った。
人の話は「目で見て、耳を傾けて、体ごと話し手の方を向いて聞くものだ」という
考えから実施した。

②5月：専門委員会

毎月行われる委員会の中で、手話の講習会を行った。クラスへ伝達するために、昨
年度に経験のある先輩達が後輩へ教えながら活動をした。それを各委員がクラスに
持ち帰り、翌日の委員会報告で一緒に手話や指文字を体験した。

③生徒集会

朝礼前に行われる、生徒集会内で各委員会の委員長が活動報告をする場面がある。
その中で、福祉委員長が手話に関する説明をし、教員が手話で同時通訳をした。顔
をあげて話を聞くことをねらいとし、さらに手話に興味関心をもてるように同時通
訳形式にすることを、生徒からの企画提案で実施した。

（5）成果

福祉委員会では、継続的な活動のほかに、自分達で考えた企画を実施できるよう年間計画を
作成している。昨年度、これまでユニセフの街頭募金を継続してきたことで全校表彰を受け、
図書カードを贈呈された。その使い道を尋ねたところ、手話の本がほしいというアイデアが
あがった。昼休みに「〇〇という手話はこうやるんだよ」と担任に話しかけてくる生徒がいる
という話を聞くと、興味関心をもってきている生徒が少しずつ増えていると感じる。